

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		埋蔵文化財調査事業		担当課	文化振興課	担当係	文化財保護係	管理番号	74112	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいを持ち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	文化財保護法				
	小項目	3	郷土の歴史・文化の継承と活用							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、市内に約740か所ある埋蔵文化財包蔵地において、開発行為等が行われる場合に試掘・確認調査を行い、その内容を把握して、現状保存できない場合には、発掘調査をすることで記録保存を行う。また、重要遺跡については確認調査を行う。								
目的 ※何のために		埋蔵文化財を適切に保護し、状況を確認するために、調査を行う。								
対象 ※誰・何を対象に		埋蔵文化財、重要遺跡								
手段 ※どのように		遺跡地内における開発等の行為に対する指導と、必要な場合は確認調査・本調査の実施、重要遺跡範囲内容確認のための調査を実施する。								
成果 ※何を求めるか		埋蔵文化財やその他文化財を適切に保護する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	5	文化財費	市内文化財調査事業	19,123,894
本事業の 主な業務		・埋蔵文化財発掘調査業務							・	
		・埋蔵文化財確認調査業務							・	
		・埋蔵文化財照会・回答事務							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		埋蔵文化財発掘調査・確認調査業務 埋蔵文化財照会・回答事務	埋蔵文化財発掘調査・確認調査業務 埋蔵文化財照会・回答事務	埋蔵文化財発掘調査・確認調査業務 埋蔵文化財照会・回答事務	埋蔵文化財発掘調査・確認調査業務 埋蔵文化財照会・回答事務		
事業費	予算(現額)	20,989,000	72,480,000	23,407,000	45,909,000		
	決算額	20,114,230	19,123,894	0	0		
	財源内訳	国支出金	3,330,000	3,420,000	4,500,000	4,500,000	
		県支出金	1,665,000	1,710,000	2,250,000	2,250,000	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	7,426,030	8,142,314	8,312,000	28,463,000	
		一般財源	7,693,200	5,851,580	8,345,000	10,696,000	
人件費	従事職員数(人)	0.85	1.95	1.95	1.95		
	人件費相当試算※	6,597,628	15,345,636	15,982,955	15,982,955		
総事業費試算		26,711,858	34,469,530	39,389,955	61,891,955		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	遺跡地内における開発協議件数	目標値	件						
		実績値		247.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		開発協議の件数は事前に把握できないため目標値を設定しない						
	実績値の算出式								
成果指標 1	発掘調査報告書の刊行数	目標値	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		実績値		4.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		前年の発掘調査件数の5割の報告書の刊行を目標値とする。						
	実績値の算出式								
成果指標 2	確認調査の実施数	目標値	件						
		実績値		61.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		開発協議の件数は事前に把握できないため目標値を設定しない						
	実績値の算出式								
成果指標 3	発掘調査の実施数	目標値	件						
		実績値		8.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		開発協議の件数は事前に把握できないため目標値を設定しない						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	開発協議に関し、関係各課とも連携を図り、適切に対応することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	確認調査を適切に行い、記録として残すべき埋蔵文化財の調査を適切に実施、また調査結果を整理し、報告書の刊行を行うことで地域の歴史を構成する資料を新たに蓄積することができた。
			評価者 文化財保護係長 田邊 恵美

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	開発協議に係る埋蔵文化財事務の効率を図るために、WebGISシステムに遺跡台帳を登録し、埋蔵文化財の管理を行っているが、紙台帳とWebGISシステムのデータに若干の差異が生じている。 今後も引き続き、WebGISシステムへのデータ入力及び管理方法を協議し、整合性を図る。
			評価者 文化財保護係長 田邊 恵美

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	開発協議を経て発掘調査から報告書刊行までを円滑に行う環境を維持し、報告書刊行については計画を立て順次刊行していく必要がある。
達成状況及び その効果	円滑な発掘調査業務の運営及び調査報告書の刊行を行うことができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	埋蔵文化財調査事業	担当課	文化振興課	担当係	文化財保護係	管理番号	74112
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		開発行為に伴う確認調査、試掘・発掘調査等について、発掘作業員、発掘整理作業員への適切な指示を行うとともに、業務委託を効率よく活用し、埋蔵文化財の保護を適切に行うことができた。今後も継続し、埋蔵文化財の適正な保護を図ることとする。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	文化振興課長 吉岡 恵子				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	開発協議を経て発掘調査から報告書刊行までを円滑に行う環境を維持し、報告書刊行については計画を立て順次刊行していく必要がある。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	今後も開発行為に伴う確認調査、試掘・発掘調査等について、発掘作業員、発掘整理作業員への適切な指示を行うとともに、業務委託を効率よく活用し、埋蔵文化財の保護を適切に行う。

8. 評価指標グラフ

